

海外交信の楽しみ方

JR3QHQ 田中 透 Toru Tanaka

日本国内だけではなく、世界中のアマチュア無線家と交信してみませんか。世界の多くのアマチュア無線家が皆さんとの交信を待っています。

9-1 海外交信の楽しみ方

9-1-1 小さな設備の局でも海外交信を楽しめる

海外交信というと、タワーに上がった大きなアンテナに大出力がなければできないと思っている人もいます。確かにこのような設備があるにこしたことはありませんが、出力10 Wとベランダに設置した小さなアンテナでも、十分に海外交信が楽しめます(写真9-1)。

しかし、このような設備では、いつでもどのバンドでも世界中と交信するというわけにはいきません。海外交信の経験を重ね、さらに上を目指したいと思ったら、設備のグレードアップを行いましょう。

海外交信のビギナーのうちは、アジアやオセアニアなど比較的近距離の国との交信を目指しましょう。21 MHzではこれらの地域の局がよく聞こえてきます。出力10 Wでも十分交信可能なので、ぜひチャレンジしてください。

特にサイパン(プリフィックスがKH0, 写真9-2)やグアム(KH2), パラオ(T8, 写真9-3)からは、日本語による運用が頻繁に行われています(写真9-2)。これらの国や地域は、免許制度の関係などから日本の局が運用しやすい場所だからです。まずは、このような局を探して呼んでみましょう。



写真9-1
バルコニーに設置したアンテナ
このような小さなアンテナでも、
コンディション次第で遠くの国の
局と交信できる。